



# 太郎・次郎

石岡市立東成井小学校  
学校だより19号  
令和6年7月 9日  
校長 石崎 重臣

「太郎・次郎」は、校庭にそびえるいちょうの木です

【組織目標】児童が主役 みつけよう かんがえよう やってみよう～認める 寄り添う 支える～

## 「人のせいにならない」 ～失敗を恐れないで！

【この記事は、お子さんと一っしょにご覧いただけると幸いです。】

去る7月7日（日）は、私の亡き父の誕生日でした。仏前に花を供えて手を合わせると、ある言葉が脳裏をよぎります。「人のせいにするな！」、私が子どもの頃によく言われていた、父の口癖でした。

私も小学生の時には、楽しいことばかりではなく、例えば、テストの点数が悪くて落ち込んだり、友達にちょっかいを出されたり、嫌なことを言われたりして子どもながらに悩んだりしたことがありました。私自身、とっても不器用で、運動もあまり得意ではなかったので、今思えばコンプレックスもあったのかもしれませんが。

「テストが難しすぎる」「（友達が）いつも悪口を言ってきて嫌な気持ちになる」と私が言うと、決まって父は「人のせいにするな！人のせいにしているうちは、あなたにとって何もよくなるよ」と繰り返し言いました。そして、「どうすれば自分がすっきりするのか、よく考えてやってみなさい」と、いつも続けて言っていました。その代わりに、私が失敗しても決して責めることなく、黙って見守ってくれる父でした。



「自分のことは自分で決める」これって結構難しいことですよ。自分でやろうとしても、はじめからうまくいくことばかりではないので、失敗を伴うことも多いからです。周りで見ている者からすれば、つい手を出したくなることもしばしばあります。でも、試行錯誤をしながら、自分で答えにたどりついたとき、気が付くと状況が変わっていることも多いことを、私は経験しました。勉強時間を増やして地道に努力を続けたとき、友達にからかわれても腹を立てずに「そうだね」と応えたとき、本当に我慢できなくなったらきっぱりと「やめろよ！」と伝えたとき。少しずつだけど、以前とは違う自分になったような気がしました。



東成井小学校の学校組織目標である「児童が主役 みつけよう かんがえよう やってみよう」は、学習に限った目標ではありません。困ったことや悩みなどがあつたときこそ、「いま、自分にできること」を見つけ、考えて、やってみてほしいと思います。もちろん、自分一人で解決するのが難しいときには、先生や友達、家族に相談してほしいと思います。大事なことは、

**「何かをするときに、自分で選び、自分で決めてやってみる」**ことです。失敗なんか気にせず、自分でがんばろうとするなるいっこを、私は全力で応援し続けます。

7月7日は「七夕」でもありました。皆さんの願い事が叶うすてきな1年になることを心から願っています。次号では「夏休みの課題」の取組についてお知らせする予定です。もうすぐ迎える夏休みを、なるいっこたちが有意義に過ごせるように支援いたします。よろしく願いいたします。



なるいっこのみんながすてきな夏にすてきな思い出を作りたいと思います。

学校だより「太郎・次郎」はホームページの「各種たより」からもご覧になれます。

東成井小学校HPアドレス

<https://www.ishioka-school.ed.jp/page/dir000015.html>